

厚生労働科学研究費補助金（免疫・アレルギー疾患政策研究事業）
分担研究報告書

介護・福祉・在宅医療現場における関節リウマチ患者支援の充実を目指す研究

研究分担者

松井 利浩	国立病院機構相模原病院臨床研究センター・リウマチ性疾患研究部 部長
川畑 仁人	聖マリアンナ医科大学・リウマチ・膠原病・アレルギー内科学 主任教授
川人 豊	京都府立医科大学・大学院医学研究科 准教授
小嶋 雅代	名古屋市立大学・医薬学総合研究院（医学）特任教授
酒井 良子	明治薬科大学・公衆衛生・疫学研究室 准教授
杉原 毅彦	東邦大学・医学部内科学講座膠原病学分野 准教授
辻村 美保	国立病院機構相模原病院臨床研究センター・リウマチ性疾患研究部 客員研究員
房間 美恵	宝塚大学・看護学部 准教授
松下 功	金沢医科大学・リハビリテーション医学科 特任教授
矢嶋 宣幸	昭和大学・医学部内科学講座リウマチ・膠原病内科学部門 教授

研究協力者

門永登志栄	公益社団法人日本リウマチ友の会 会長
安藤 千晶	公益社団法人日本社会福祉士会 副会長
中林 弘明	一般社団法人日本介護支援専門員協会 常務理事
磯崎 健男	昭和大学・薬学部臨床薬学講座臨床病態学部門 教授
島原 範芳	医療法人千寿会道後温泉病院リウマチセンター・リハビリテーション科 副科長
鈴木翔太郎	聖マリアンナ医科大学・リウマチ・膠原病・アレルギー内科・助教
大野 玲	昭和大学・薬学部臨床薬学講座臨床病態学部門 助教
田口 真哉	社会医療法人抱生会丸の内病院・リハビリテーション部 係長
當間 重人	国立病院機構東京病院・リウマチ科 部長
柳井 亮	昭和大学・医学部内科学講座リウマチ・膠原病内科学部門 助教
山崎 秀	社会医療法人抱生会丸の内病院・診療部 部長

研究要旨：

関節リウマチ(RA)患者の高齢化が進む中、介護、福祉、在宅医療現場における高齢 RA 患者支援の実態は明らかでない。また、多職種連携による RA 患者支援の充実には、介護・福祉職員の理解と協力が不可欠であるが、そのための資材や啓発活動が充実しているとは言い難い。本研究の目的は、介護、福祉、在宅医療現場における RA 患者支援の実態及びアンメットニーズの把握し、介護・福祉職向けの資材作成および啓発活動を行うことである。今年度は、介護、福祉、在宅医療現場における RA 患者支援の実態及びアンメットニーズの把握を目的とした、介護・福祉職及びリウマチ医向けの 2 つのアンケート調査の準備を行った。

A. 研究目的

「リウマチ等対策委員会報告書」(平成 30 年 11 月)において、関節リウマチ(RA)患者の高齢化、及び高齢発症 RA 患者の増加が明らかとなったが、介護、福祉、在宅医療現場における高齢 RA 患者支援の実態は明らかでない。また、多職種連携による RA 患者支援の充実には、介護支援相談員や社会福祉士の理解と協力が不可欠であるが、そのための資材や啓発活動が充実しているとは言い難い。

本研究の目的は、介護、福祉、在宅医療現場における RA 患者支援の充実を目指し、介護、福祉、在宅医療現場における RA 患者支援の実態及びア

ンメットニーズの把握を行い、介護・福祉職向けの資材作成および啓発活動を行うことである。

B. 研究方法

今年度は、介護、福祉、在宅医療現場における RA 患者支援の実態及びアンメットニーズ把握を目的とした 2 つのアンケート調査の準備を行った。

1. 介護支援専門員および社会福祉士を対象としたアンケート調査の作成と実施準備

関係団体(日本介護支援専門員協会及び日本社会福祉士会)関係者、患者団体(日本リウマチ友の会)代表者を含む研究班員全体が参加し、Web、対

面およびメールでの会議を行った。介護、福祉、在宅医療現場における RA 患者の実態及び支援の状況などについて議論し、アンケート内容及び実施方法などについての検討も行った。

2. リウマチ医を対象としたアンケート調査の作成と実施準備

上記 1. の作業を進めていく中で、リウマチ医の介護、福祉、在宅医療に対する知識や関心の欠如があるのではないかとの意見が聞かれたため、リウマチ医に対してもアンケート調査を実施することとした。上記 1. と同様の手順で準備を進めた。

(倫理面への配慮)

本研究で実施するアンケート調査について、国立病院機構相模原病院倫理委員会にて承認を受けた(倫 2023-040、2024-006)。アンケート対象者にはアンケート回答時に同意の意思確認を実施する。

C. 研究結果

1. 介護支援専門員および社会福祉士を対象としたアンケート内容および実施方法

1) アンケート内容の確定：議論の結果、〈資料 1〉にある内容に決定した。

2) アンケートの実施方法：以下のように決定した。

- ・対象：①日本介護支援専門員協会の会員
- ②日本社会福祉士会の会員
- ・実施人数：①②それぞれ 1000 名を無作為抽出
- ・回答方法：選択式と一部自由記載
- ・実施方法：アンケート用紙を郵送(郵送先の選定および発送は①②の各団体に委ねることとし、研究班として個人情報取得しない)
- ・同意取得：アンケート用紙にて書面による同意意思の確認を行うこととした
- ・実施時期：2024 年 5 月末発送、6 月末返信〆切

2. リウマチ医を対象としたアンケート内容および実施方法

1) アンケート内容の確定：議論の結果、〈資料 2〉にある内容に決定した。

2) アンケートの実施方法：以下のように決定した。

- ・対象：日本リウマチ学会の医師会員
- ・目標人数：500 名
- ・回答方法：選択式
- ・実施方法：Google フォームを用いて Web で実施
- ・周知方法：日本リウマチ学会の協力を得て、学会メール配信および学術集会でのポスター掲示、チラシ配布などを実施
- ・同意取得：入力フォームの冒頭で同意意思の確認を行うこととした
- ・実施時期：2024 年 4 月中旬～5 月初旬

D. 考察

当初の計画通り、今年度中にアンケート内容及び実施方法の確定、倫理審査を終了し、次年度冒頭での実施を確定することができた。

アンケート内容の議論の中で、介護、福祉、在宅医療現場における RA 患者の実態及び支援の状況について、様々な立場や経験から貴重な意見が多く聞かれた。特に、本来であれば多職種連携の中核となるべきリウマチ医の介護、福祉、在宅医療に対する知識が不足しているのではないかと、それにより充実した患者支援が実施できていないのではないかという声が聞かれ、当初予定していなかった、リウマチ医へのアンケート調査も実施することとなった。

今回実施する 2 つのアンケートは、これまでに実施されたことが無い内容となっている。この結果は、今後作成する資料作成や啓発活動に有益な情報をもたらすことが期待される。

E. 結論

介護、福祉、在宅医療現場における RA 患者支援の実態及びアンメットニーズを把握することを目的とした、介護福祉職及びリウマチ医向けの 2 つのアンケート内容が確定し、次年度冒頭の実施に向けて準備が完了した。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

特になし

2. 学会発表

1) 松井 利浩, 長谷 陸雄, 鈴木 智博, 矢野 裕介, 野木 真一, 津野 宏隆: 訪問診療を行っている関節リウマチ患者 20 例の実態. 第 38 回日本臨床リウマチ学会. 2023. 11. 18. 北九州市.

2) 松井 利浩, 當間 重人: 高齢発症関節リウマチでも“寛解”を治療目標とするべきか? ~ NinJa2019 による解析~. 第 77 回国立病院総合医学会. 2023. 10. 21. 広島市.

H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし

関節リウマチ患者支援に関する アンケート調査へのご協力をお願い

【本調査の趣旨】

高齢関節リウマチ患者が増加している中、介護、福祉、在宅医療現場における関節リウマチ患者支援の充実が求められていますが、その実態や問題点については明らかではありません。そこで、厚生労働科学研究費補助金免疫・アレルギー疾患等政策研究事業「介護・福祉・在宅医療現場における関節リウマチ患者支援に関する研究」(研究代表者 国立病院機構相模原病院 松井利浩)において、日本介護支援専門員協会、日本社会福祉士会の会員の方々を対象に、関節リウマチに関する知識や患者支援の実際と問題点などを知るために、アンケート調査を実施させていただくこととなりました。この調査結果は、介護・福祉職の方々にご活用いただける関節リウマチ患者支援資材の作成に役立てるとともに、学会報告、論文、報告書のデータとして使用させていただきます。

本調査では、ご回答者の方の個人情報は収集いたしませんので、アンケートにも返信用封筒にもお名前の記載は不要です。本アンケート調査への参加は任意であり、同意しないことにより不利益を受けることはございません。なお、本調査は完全匿名の調査のため、アンケート用紙を返送いただいた後の同意の撤回は不可能ですので、ご了承ください。本アンケート調査は国立病院機構相模原病院の倫理委員会で承認されています(承認番号 倫 2024-006)。

何卒、ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

【あなたが調査対象者に選ばれた理由】

本調査は、日本介護支援専門員協会および日本社会福祉士会の正式なご協力のもと、実施させていただいております。それぞれの事務局により、全国の会員の中から無作為に抽出された方々に調査を依頼させていただきました。ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

【本アンケートに関する問い合わせ先】

研究責任者：国立病院機構相模原病院臨床研究センターリウマチ性疾患研究部長 松井利浩

〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1 電話:042-742-8311

E-mail:matsui.toshihiro.uh@mail.hosp.go.jp

ご記入いただきましたら、同封の返信用封筒に入れてご返信ください。

大変恐縮ですが、**2024年6月20日まで**にお近くの郵便ポストにご投函ください。

切手は不要です。

以下、ご記入をお願い致します

*【本調査の趣旨】に関してご同意いただけましたか？ いずれかに必ず☑をお願い致します

調査に同意します 調査に同意しません

「調査に同意します」にチェックをしていただいた方は、下記の質問にご回答をお願い致します

Q1-1. あなたの年齢は？ 年齢： _____ 歳

Q1-2. あなたの性別は？ ①男性 ②女性 ③その他

Q1-3. あなたの職種を教えてください（現在のメインの職種を1つ選んで○をつけて下さい）

- ①介護支援専門員 ②主任介護支援専門員 ③相談支援専門員 ④社会福祉士
⑤生活相談員 ⑥支援相談員 ⑦医療相談員(MSW) ⑧精神保健福祉相談員(PSW)
⑧保健師 ⑨介護士 ⑩特になし ⑪その他（ ）

Q1-4. Q1-3.で回答いただいた職種の実務年数は何年ですか？ _____ 年

Q1-5. 介護・福祉に関して所有する資格に○をつけて下さい（複数選択可）

- ①介護福祉士 ②社会福祉士 ③精神保健福祉士 ④社会福祉主事任用資格
⑤介護支援専門員 ⑤理学療法士 ⑥作業療法士 ⑦看護師 ⑧保健師
⑨薬剤師 ⑩医師 ⑪歯科医師 ⑫特になし ⑬その他（ ）

Q1-6. 現在の勤務先に○をつけて下さい（複数選択可）

- ①病院 ②診療所/クリニック ③居宅介護支援事業所 ④介護医療院
⑤特別養護老人ホーム ⑥介護老人保健施設 ⑦有料老人ホーム
⑧グループホーム(認知症) ⑨グループホーム(障害者) ⑩小規模多機能型居宅介護施設
⑪看護多機能型居宅介護施設 ⑫地域包括支援センター ⑬障害者相談支援事業所
⑭デイサービス(高齢者) ⑮デイサービス(障害者) ⑯学校 ⑰行政 ⑱特になし
⑲その他（ ）

Q1-7. 勤務先の郵便番号「最初の3桁」を教えてください(例 123-4567 の場合、「123」と記入)

〒 - ■■■■

Q2. 関節リウマチに関する知識についての質問です。該当するもの1つに○をつけて下さい。

Q2-1. 関節リウマチの症状や経過、予後についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-2. 関節リウマチの合併症についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-3. 関節リウマチの手術療法についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-4. 関節リウマチのリハビリテーション治療についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-5. 関節リウマチにおける喫煙の影響についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-6. 関節リウマチにおける口腔ケアの重要性についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-7. 痛み止めには複数の種類があることを知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-8. 痛み止めは種類ごとに特徴的な副作用があることを知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-9. ステロイド使用者における注意点についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-10. メトトレキサート(MTX)という薬を知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-11. メトトレキサート(MTX)使用者における注意点についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-12. 生物学的製剤という薬を知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-13. 生物学的製剤使用者における注意点についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-14. JAK(ジャック)阻害薬という薬を知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q2-15. JAK(ジャック)阻害薬使用者における注意点についてどのくらい知っていますか？

- ①よく知っている ②ある程度知っている ③あまり知らない ④全く知らない

Q3. 関節リウマチ患者さんの支援経験に関する質問です。該当するもの 1つに○をつけて下さい。

Q3-1. この1年間で、何人の関節リウマチ患者さんを支援しましたか？

- ① 0人 ② 1-4人 ③ 5-9人 ④ 10-19人 ⑤ 20-29人 ⑥ 30-49人
⑦ 50-99人 ⑧100人以上

Q3-2. これまでに、総勢何人の関節リウマチ患者さんを支援したことがありますか？

- ① 0人 ② 1-4人 ③ 5-9人 ④ 10-19人 ⑤ 20-29人 ⑥ 30-49人
⑦ 50-99人 ⑧100人以上

Q3-2.で「① 0人」(=支援経験なし)と回答された方は、ここで終了となります

それ以外の方は、以後の質問への回答を続けてください



Q4. 関節リウマチ患者さんやご家族への支援の実際と問題点についての質問です。

Q4-1. 関節リウマチ患者さんが利用する支援制度にはどんなものがありますか？

- () に○をつけてください (複数選択可) (注: 65歳以上の方における介護保険は除きます)
- | | |
|---------------------|--------------------------|
| () ①高額療養費制度 | () ⑦指定難病医療費助成制度 |
| () ②高額介護合算療養費制度 | () ⑧介護保険第2号被保険者(40~64歳) |
| () ③身体障害者手帳 | () ⑨障害福祉サービス |
| () ④障害年金 | () ⑩特になし |
| () ⑤重度障害者医療費助成制度 | () ⑪わからない |
| () ⑥自立支援医療制度(更生医療) | () ⑫その他 () |

Q4-2, 4-3, 4-4. 関節リウマチ患者さんご本人やそのご家族への支援の実状についての質問です。

Q4-2. 「質問されたり相談されたりすること」

Q4-3. 「実際に支援したり情報提供したりしていること」

Q4-4. 「支援や情報提供する際、あなたが困る事や知っておきたいこと」

について、それぞれ該当するものに○をつけて下さい。(複数選択可)

項目	Q4-2. 質問されたり相談されたりすること	Q4-3. 支援したり情報提供したりしていること	Q4-4. あなたが困る事や知っておきたいこと
①関節リウマチ自体や合併症			
②リウマチの痛みへの対処法			
③リウマチの治療薬や副作用			
④服薬や自己注射を忘れた時の対応			
⑤発熱時や感染症合併時の対応			
⑥体調不良時の医療機関受診のタイミング			
⑦自宅でできる運動やリハビリテーション			
⑧介助や処置の方法			
⑨日常生活での注意点/工夫/関節保護の方法			
⑩自助具・福祉用具			
⑪装具			
⑫利用できる医療制度、支援制度、福祉制度、サービス内容			
⑬経済的な負担に関する事(医療費、薬剤費、サービス利用の費用)			
⑭災害時の対応			
⑮特になし			
⑯わからない			
⑰その他 (○の場合、その内容を欄外にご記入下さい)			

↓

⑰その他:

Q4-5. 関節リウマチ患者さんを支援する上で、他の疾患の患者さんと異なる点は何ですか？

() に○をつけてください (複数選択可)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| () ①痛みの訴えが多い | () ⑦支援が生活全般で多岐にわたる |
| () ②変形/拘縮した関節への配慮 | () ⑧自具具・福祉用具の必要度が高い |
| () ③薬が多い/服薬管理が煩雑 | () ⑨受診支援の頻度が高い |
| () ④症状の日内変動がある | () ⑩特に異なる点はない |
| () ⑤併存症/合併症が多い | () ⑪わからない |
| () ⑥転倒のリスクが高い | () ⑫その他 () |

Q4-6. 関節リウマチ患者さんの支援に必要な知識や情報はどのように得ていますか？

() に○をつけてください (複数選択可)

- | | |
|---|----------------------|
| () ①関節リウマチ診療ガイドライン | () ⑨その他の講演会/研究会/研修会 |
| () ②リウマチ白書(日本リウマチ友の会) | () ⑩地域や自施設での勉強会 |
| () ③市販の書籍 | () ⑪医療職の方に直接訪ねる |
| () ④企業が作成した小冊子/パンフレット | () ⑫特にない |
| () ⑤インターネット | () ⑬わからない |
| () ⑥リウマチ相談員育成研修会 | () ⑭その他 () |
| () ⑦関連学会/リウマチ財団の研修会 | |
| () ⑧メディアスタッフのためのライフステージに応じた関節リウマチ患者支援ガイド(日本リウマチ学会) | |

Q5. 医療と福祉の連携についての質問です

Q5-1. 関節リウマチ患者さんにおける医療と福祉の連携について、あなたが困っていることを教えてください？ () に○をつけてください (複数選択可)

- () ①主治医からの、病気や薬、治療方針に関する情報提供が十分でない
- () ②主治医からの、生活上の留意点などに関する情報提供が十分でない
- () ③主治医からの、サービス利用に際しての注意点に関する指示が十分でない
- () ④主治医からの、リハビリテーションの内容や注意点に関する情報提供が十分でない
- () ⑤医療者に対して、患者さんの日常生活や家庭環境に関する情報提供が十分できていない
- () ⑥医療者と、患者さんやご家族の意見や希望を共有できていない
- () ⑦医療者と、患者さんについての情報共有を行う仕組みや環境が構築されていない
- () ⑧報告書や文書などを主治医に送っても、把握されていないことが多い
- () ⑨問い合わせや書類作成依頼に対して、主治医の対応が遅いことがある
- () ⑩特にない
- () ⑪わからない
- () ⑫その他 ()

Q5-2. 関節リウマチ患者さんにおける要介護認定については妥当だと思いますか？

() に○をつけて下さい。(1つだけ選んで下さい)

- () ①実状よりも介護度が低く認定されることが多い
- () ②実状よりも介護度が低く認定されることがある
- () ③妥当なことが多い
- () ④実状よりも介護度が高く認定されることがある
- () ⑤実状よりも介護度が高く認定されることが多い
- () ⑥妥当かどうか判断できない

Q5-3. 関節リウマチ患者さんにおける医療と福祉の連携をより円滑に行うために、あなたが医療者に要望/期待することはどんなことですか？ () に○をつけて下さい。(複数選択可)

- () ①主治医意見書や訪問看護指示書に、必要な情報を詳細に記載して欲しい
- () ②意見書や指示書は、専門用語や略語ではなく分かりやすい言葉で記載して欲しい
- () ③患者さんの病状や治療方針、生活上の留意点などに関する情報を提供して欲しい
- () ④リウマチの薬やその副作用に関する情報を提供して欲しい
- () ⑤リハビリテーションのやり方について具体的に教えて欲しい
- () ⑥患者さんやご家族へ、病気や治療などについて分かりやすく説明して欲しい
- () ⑦患者さんについての相談や問い合わせをしやすい仕組みや環境を構築して欲しい
- () ⑧患者さんの状態が悪化した際、速やかに受け入れてもらえる診療体制を構築して欲しい
- () ⑨福祉制度をもっと理解して活用して欲しい
- () ⑩問い合わせや書類作成依頼に対して、迅速に対応して欲しい
- () ⑪特にない
- () ⑫わからない
- () ⑬その他 ()

Q6. 関節リウマチ患者さん、ご家族の医療と福祉に対する理解度についての質問です

Q6-1. 関節リウマチ患者さんご本人は、医療と福祉の違いについて理解していると思いますか？

○をつけて下さい。(1つだけ選んで下さい)

- () ①よく理解している
- () ②少し理解している
- () ③あまり理解していない
- () ④全く理解していない
- () ⑤理解しているか判断できない

Q6-2. 関節リウマチ患者さんのご家族は、医療と福祉の違いについて理解していると思いますか？

○をつけて下さい。(1つだけ選んで下さい)

- () ①よく理解している
- () ②少し理解している
- () ③あまり理解していない
- () ④全く理解していない
- () ⑤理解しているか判断できない

Q6-3, 6-4. 関節リウマチ患者さんご本人もしくは、ご家族が、医療保険と介護保険の違いを理解し

ていないのではないかと思うことはどんなことですか？

Q6-3. 「患者さんご本人が理解していないのではないかと思うこと」

Q6-4. 「ご家族が理解していないのではないかと思うこと」

について、それぞれ該当するものに○をつけて下さい。(複数選択可)

項目	Q6-3.患者さん	Q6-4.ご家族
①要介護認定の該当の有無により、適用される保険が違うこと		
②医療費と介護費用の支払いは別々であること		
③リハビリテーション治療は、医療保険の場合と介護保険の場合があること		
④使用される保険によって、リハビリテーション治療の内容や回数・頻度に違いがあること		
⑤医療保険のリハビリテーション治療と介護保険のリハビリテーション治療は併用ができないこと		
⑥訪問看護は、医療保険によるものと介護保険によるものがあること		
⑦看護師とホームヘルパーでは、実施できる行為に違いがあること		
⑧訪問マッサージは医療保険が適用となること		
⑨特にない		
⑩わからない		
⑪その他 (○の場合、その内容を欄外にご記入下さい)		

↓

⑪その他：

※以上で終了です。アンケート全般を通して何かご意見等ございましたら自由にご記載ください

()

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封した封筒にてご返信を宜しくお願い致します。

資料 2. リウマチ医を対象としたアンケート

1. 属性

- 1-1. 年齢(歳)
- 1-2. 性別
- 1-3. 専門科
- 1-4. リウマチ診療の実務年数(年)
- 1-5. リウマチ専門医資格の有無
- 1-6. 勤務先
- 1-7. 現勤務先(都道府県)

2. RA 患者における社会保険、社会福祉制度について

- 2-1. 高額療養費制度の内容やその申請方法についてどのくらい理解していますか？
- 2-2. 介護保険制度の内容やその申請方法についてどのくらい理解していますか？
- 2-3. 障害年金制度の内容やその申請方法についてどのくらい理解していますか？
- 2-4. 身体障害者手帳の内容やその申請方法についてどのくらい理解していますか？
- 2-5. 各種介護施設(※)の違いや特徴についてどのくらい理解していますか？
- 2-6. 社会保険、社会福祉制度に関する知識がないことで、患者支援の際に困ることはありますか？
- 2-7. 社会保険、社会福祉制度に関する患者支援について自施設でサポートしてくれるのは誰ですか？
- 2-8. RA 患者を支援するにあたり、医師自身が社会保険や社会福祉制度全般に関する知識を習得する必要があると思いますか？
- 2-9. RA 患者の要介護認定について妥当だと思いますか？
- 2-10. RA 患者における社会保険や社会福祉についての問題点をお教えてください
- 2-11. RA 患者支援において福祉スタッフにどんなことを期待しますか？

3. RA 患者における在宅診療について

- 3-1. RA 患者において、今後、在宅診療の必要性が増していくと思いますか？
- 3-2. ご自身は RA 患者の在宅診療に携わりたいと思いますか？
- 3-3. ご自身は RA 患者の在宅診療の経験はありますか？
- 3-4. ご自身が担当していた RA 患者が在宅医療移行した後の主な主治医は誰ですか？

3-5. 在宅診療において、RA 患者は誰が診るのが理想だと思いますか？

3-6. RA 患者が在宅診療に移行する際、リウマチ治療薬の変更や調整(剤型や飲み方)を考えますか？

3-7. 3-6 で「はい」の方は、どのような場合に薬の変更や調整を考えますか？

3-8. 在宅診療に移行した RA 患者について、在宅診療医と連絡を取り合ったり情報共有したりすることはありますか？

3-9. RA 患者の在宅診療についてどんな問題点や課題があると思いますか？